

会 議 録

会議の名称	行田市都市計画マスタープラン第3回策定委員会
開催日時	平成24年4月12日(木) 開会：午後1時30分 閉会：午後3時20分
開催場所	行田市産業文化会館2階 2A会議室
出席者(委員) 氏名	酒井建二 宮本伸子 柿沼貴志 吉田豊彦 秋山佳子 小河原勝美 橋本好司 秋山量一 小林康男 野中昭夫 山崎孝子 白井裕泰 細井保雄 川田英一 荒井文之助 今村武蔵 町田光 長原順子 野村正幸 鈴木英樹 大久保毅 (名簿順・敬称略)
欠席者(委員) 氏名	井上光広 正田行夫 富岡誠 (名簿順・敬称略)
事務局・担当課	【都市計画課】岡村課長 青山主幹 金子主査 野中主任
会議内容	議事 目標の実現に向けた主要な課題の設定について
会議資料	(資料名・概要等) ・次第 ・資料1 行田市都市計画マスタープラン策定委員会第3回策定委員会資料 ・資料2 行田市都市計画マスタープラン策定第3回策定委員会 ・補足資料 ・平成24年度 行田市都市計画マスタープラン策定委員会委員名簿 ・行田市都市計画マスタープラン策定委員会設置要綱
その他必要事項	

発 言 者	会議の経過（議題・発言内容・結論等）
<p>委員長</p> <p>事務局 委員長</p> <p>委 員</p>	<p>・新委員の紹介 長原順子 氏 鈴木英樹 氏</p> <p>・酒井委員長あいさつ</p> <p>・会議を公開とすることを決定する</p> <p>・傍聴人 5 名の入室を許可する</p> <p><b>審議</b></p> <p>それでは、しばらくの間、議事の進行を務めさせて頂く。皆様には、ご協力の程よろしく願います。</p> <p>それでは、早速、議事に入りたいと思う。次第 3 の目標の実現に向けた主要な課題の設定について、事務局から説明をお願いします。</p> <p>■スライド（資料 2）を用いて事務局から説明する。</p> <p>補足資料をご覧頂きたい。</p> <p>都市づくりの基本目標として三つ設定している。一つ目は、「笑顔で暮らす、住みよいまち」、二つ目に、「笑顔あふれ、にぎわいを生むまち」そして、三つ目に「行田らしさが光るまち」である。この三つの都市づくりの基本目標の内、一つずつ意見を頂きたい。</p> <p>はじめに「笑顔で暮らす、住みよいまち」についてであるが、これには、「都市拠点の活性化と周辺地域の生活環境の調和がとれたまち」、「良好な都市環境が整った交通利便性の高いまち」、「子どもからお年寄りまで快適で安心・安全に暮らせるまち」の三つの項目がある。さらに、この項目ごとにブレイクダウンした課題が右側に書いてある。</p> <p>それでは、都市づくりの基本目標の一つ目、「笑顔で暮らす、住みよいまち」から、意見などを伺いたい。</p> <p>今日の内容に入る前にどうしても一つ申し上げたい。すでに決定されているので良いのだが、まちづくりの基本理念が「ひとの元気・地域の元気・まちの元気」となっているが、私には、基本理念と思えない。元気であることは良いのだが、行田市の 20 年後のあるべき姿やまちづくりの哲学をきちんと文章化して明示する</p>

	<p>べきである。どうも市役所がつくる基本理念は、スローガンのなものが多い。</p> <p>さて、都市づくりの基本目標の「笑顔で暮らす、住みよいまち」の項目に「良好な都市環境が整った交通利便性の高いまち」とあるが、行田市は、この点が近隣市と比べて弱点であると思う。先程、事務局の説明で、周辺自治体と連携した道路網の整備が必要であるとあったが、20年後のことを考えると、財政的な問題があり実現性が見通しが立たないと思う。良いことを書くことは結構だが、ある程度、実現性があるものでないと具合が悪いと考える。</p> <p>また、「都市拠点の活性化と周辺地域の生活環境の調和がとれたまち」とあるが、定住人口が7万人となると市中心部もかなり寂しくなる。ましてや周辺部の農村地帯では、なおさら高齢化が顕著になる。また、行田市で社会的人口増のあった持田・太井地区の新興住宅地でも、この5年10年で高齢化が進んでおり、周辺の農村部以上に、ものすごいスピードで高齢化がやってくる。その辺を踏まえた計画が必要であると考えている。</p>
<p>委員長</p>	<p>基本理念については、私もそのように思う。キャッチフレーズで終わるのではなく、理念・哲学が、誰にでも分かるように説明を補足的に付け加えたい。</p> <p>それから、「笑顔で暮らす、住みよいまち」についてのご意見として、財政的に実現できるかどうか、その辺の見通しをはっきりする必要がある。また、将来人口フレームの定住人口7万人という目標に対して、どのような手立てができるか。これに関連して、他の委員からも意見等を頂きたい。</p>
<p>委員</p>	<p>例えば、目標の実現に向けた課題の設定にある「公園整備による住環境の向上」、「身近な公園・広場等の計画的な整備」でいうと、公園をどのようにするかということ、今後、策定委員会で検討し、最終的には、具体案として予算をどれくらいかけられるのかを含めて、策定委員会で決めていくのかを確認したい。</p>
<p>委員長</p>	<p>目標の実現に向けた方策やその手順等について、「具体的な案件をこの会議でどこまで議論できるのか。」ということだが、今後、</p>

事務局	<p>分野別方針や地域別構想の段階で、個別に議論が出来ると思う。</p> <p>皆さんが身近に接している部分で意見があれば頂きたい。また、事務局から補足等はないか。</p> <p>個別具体的なものとして、「公園をどのように整備していくか。」ということについては、まず、全体構想で方針を示して、地域別構想などで位置付けて頂きたい。ただし、全てを示していけるかということは、難しいところもあるので、意見等を頂きながら詰めていきたい。</p> <p>また、「予算的なものを踏まえていくのか。」という点については、現状の財政が難しいということはある程度踏まえて、策定委員会で検討して頂きたい。</p>
委員長	<p>よろしいか。</p> <p>他に意見はないか。</p>
委員	<p>資料にあることは、全て良いことでやらなければいけないことだと思う。しかし、あれもこれもやっていきたいということになると、力も金も分散してしまう。一極集中で、これをやると他のものに繋がり、都市づくりの基本目標が達成できるというものが良いと思う。</p>
委員長	<p>リーディング事業を提示していくということだと思うが、そのような方向で考えて頂ければ良いと思う。</p> <p>他に意見はないか。</p>
委員	<p>都市づくりの基本目標は、基本的には大変良く出来ていると思う。今後は、これに具体的な優先順位をつけて、どうやって実行するべきかを話し合うことが重要であると思う。</p>
委員長	<p>今後、目標の実現に向けた課題に対する方策やプログラムが示されることになる。その段階で、皆さんのご意見を頂ければと思う。事務局には、その点を配慮し準備して頂きたい。</p> <p>他に意見はないか。</p>
委員	<p>この資料からは、行田市の将来像、イメージが全然湧かない。20年後までの方向付けであれば、こんな細かいことまでも羅列する必要はない。行田市が進む方向として、大きなフレーム作りが</p>

	<p>一番大切である。資料には、良いことがたくさん書かれているが、20年後の行田市のイメージが湧いてこない。これからは、まち同士の競争となるので、行田市にしかない特色を出していく必要がある。</p> <p>また、財源が制限される中で、こんなに風呂敷を広げては、絵に描いた餅にしか見えない。財政的な裏付けを考えないで、こういったことを論じること自体、疑問に感じる。</p> <p>委員の中で、20年後の行田市がどこに向かうのかイメージできる方がいたら教えて頂きたい。</p>
委員長	<p>今の意見に対して、何かないか。</p>
委員	<p>私は、具体性があってかなり良いものになっていくと思う。あとはスピードだけ、このように思う。</p>
委員長	<p>先ほど、●●委員からの「将来のまちのイメージが湧かない。」という意見には、同感である。</p>
委員	<p>都市づくりの基本理念や基本目標を見る限りでは、なかなかイメージが出来ない。さらに、ブレークダウンした個別の施策については、やらなければいけないことは確かであるが、全体として、都市のイメージが湧いてこない。これについては、どうしたらイメージできるものか。</p>
委員	<p>埼玉県企業の誘致のデータを調べてきたが、公表しているものが約60件あり、その内、行田市の1件に対して加須市には4件ある。つまり、行田市よりも4倍のスピードで企業誘致をしていることになる。企業誘致することは、まちが豊かになり、人口が増える。人口を増やすためのまちづくりということでは、前谷地区の土地利用計画など、具体的に早く進めて頂ければと思う。</p>
委員	<p>計画を策定するにあたって、財政的な裏付けをしてから何をやるかを論じるというのは、この委員会の存在が否定されるように思う。また、財政的に厳しいから計画しないことが良策とは思えない。何か計画を策定して目標に近づけるという考え方が必要である。</p> <p>●●委員の意見に関連して、都市計画法第34条11号、12号に</p>

<p>委員長</p>	<p>よる市街化調整区域の土地利用については、この委員会でも可能な範囲で議論して頂きたい。私は有効な施策であると考えてる。</p> <p>都市計画法第 34 条 11 号、12 号については、前回でもご意見を頂き、事務局でも検討して頂けると思う。</p> <p>●●委員からの、全体的なイメージがわからないという点については、前回、事務局から、「重点事業やリーディング事業など、何を優先すべきであるかを含めて提示する。」と話があったかと思う。全てのことをやらなければならないが、その中で軽重をつける、時期をどのようにするかを、財政的な問題、あるいは、都市づくりの戦略の中で考えて行きたい。事務局でも検討して頂きたい。</p> <p>それでは、次に、二つ目の都市づくりの基本目標である「笑顔あふれ、にぎわいを生むまち」の三つの項目について、それぞれ意見を頂きたい。</p>
<p>委員</p>	<p>行田市を活性化する。また、行田市の生活力を上げ、市民に元気が出てくる。という点では、産業という部分が非常に大きいと思う。</p> <p>マスタープランが総花的になりがちであるのは、●●委員の発言のとおりである。その中で、酒井委員長が言われた重点的なものを押さえていくとすれば、行田市の次の時代、21 世紀を担っていく産業をどこにどのようにつくっていくのかということが、このマスタープランの中で見えて、そのために必要なベースとしての土地利用や交通ネットワークの考え方が必要である。</p> <p>その辺りのことが、この資料では、歴史資源を活用した地域産業とあるが、歴史資源だけで良いのか。また、市民参加として、産業界がどのように参画していくのか。産業を担う人材が行田市の都市づくりにどのように参画していくのかが見えない。その辺りを加える必要があると思う。</p>
<p>委員長</p>	<p>今の意見に関連して何かないか。</p> <p>これからの世代を担う産業を育成しなければならないが、これは、土地利用や基盤整備、市民参加などに係わっていくという意</p>

委員	<p>見であると思う。その辺の脈略をこの計画でつけて頂きたいと思う。</p> <p>産業というと、その産業に精通された人達に意見を聞くのが良いと思う。モチベーションが高く、産業に対する障壁を理解している人に参画していただければ良いと思う。</p> <p>企業側が進出する際の問題点として、産業用の水、国道 125 号線の輸送量、上尾道路が直結していないなどが障壁になっていると商工会議所で聞いている。</p>
委員長	<p>産業に精通する方の意見を聞いてみたい。ということだが、この委員会としてそういったことが出来るのか。産業には、工業団地や流通団地を用意して外部から誘致するものと、内発的な産業の振興を図るものの両方があると思う。外から来てもらうだけでなく、市内の既存の産業振興や若い人たちが起業しやすいような環境づくりも必要だと思う。このようなことも含めて、産業の創出は非常に重要だと思うので、この計画の中で深めて頂きたい。</p>
委員	<p>産業に関する計画として、市の商工観光課では、今年度予算により産業振興ビジョンを策定することになっている。これは、行田市に不足しているものや課題を把握して策定することになる。これと都市計画マスタープランが、うまくリンクできれば良いと思う。</p>
委員長	<p>途中経過でも良いので、産業振興ビジョンの情報を策定委員会に提供して頂きたい。</p>
委員	<p>4月24日に、市から商工会議所に出向いて頂き、都市計画マスタープランについて、説明していただけることになっている。その時に、質問があると思うがよろしく願います。</p>
事務局	<p>この計画を策定するにあたっては、今後、産業を含めた関係団体との意見交換会を予定している。そこでの意見も踏まえながら、策定委員会にお諮りしたい。</p>
委員	<p>産業の件に関連して申し上げておきたい。</p> <p>1991年に行田商工会議所100年委員会が、「活力あるまちづくりを目指して、人間の大地プロジェクト」という報告書を発行し</p>

	<p>ている。古い資料であるが、その内容は、行田市が目指すべき方向として、行田市をアクアポリスにしようというものであり、水に関連する事業所、あるいは研究所等を誘致して、「水のまち行田」にしようという提案になっている。事務局に貸し出すので、参考にしていきたい。</p>
<p>委員長</p>	<p>それでは、その資料を参考とさせて頂きたい。他に意見はないか。</p>
<p>委員</p>	<p>●●委員の発言にあった、「次の時代に必要なもの」というのはキーワードであると思う。周りがやっていない、行田市特有のものとして 21 世紀に何を残せるかということを議論したい。</p> <p>先ほどの「水」もキーワードだと思う。行田市特有のもので、次世代の子どもたちに何を残せるか、先ほどの産業振興ビジョンにも入れてもらって、この会議でも突き詰めていければ良いと思う。</p>
<p>委員長</p>	<p>他に意見はないか。</p>
<p>委員</p>	<p>それでは、次に、三つ目の都市づくりの基本目標である「行田らしさが光るまち」の三つの項目について、意見を頂きたい。</p>
<p>委員</p>	<p>一番の問題は、青地（農用地区域内の農地）だと思う。田んぼも残して産業もやるというのは矛盾が生じるのではないか。場所を決めて、青地（農用地区域内の農地）を転用して土地利用するという事も議論すべきである。</p>
<p>委員長</p>	<p>将来人口フレームの定住人口が 7 万人となっており、交流人口も 8 万 3 千人に減っていくようになっていく。人口減少を前提にまちづくりを考えていくのか。それとも、交流人口 10 万人を目標に、人口を増やすことを目指して考えていくのか。</p>
<p>委員長</p>	<p>今の意見について何かないか。</p>
<p>事務局</p>	<p>本計画の人口フレームの定住人口は 7 万人とし、それに外からの交流人口を加え、まちづくり人口を 8 万 3 千人としている。</p>
	<p>将来人口フレームの設定については、平成 22 年の国勢調査を基にした人口想定 6 万 4 千人に、本計画の施策を展開することにより、1 割程度のプラスを見込んで定住人口を 7 万人とした。</p> <p>第 5 次行田市総合振興計画の定住人口は、平成 32 年の 8 万人</p>

<p>委員</p> <p>委員長</p> <p>委員</p>	<p>を下回る推計値に、施策の展開により、現状維持としている。</p> <p>現在の中心市街地でも人口減となっており、本計画の目標年次の平成 44 年では、人口減となることを前提としている。なお、都市計画基礎調査の平成 17 年度から平成 22 年度までの人口の推移を見ると、市街化区域では人口が減っているが調整区域では人口が増えている。</p> <p>事務局では、集約型の都市構造を目指して行きたい。これは、人口密度が高い中心市街地をつくりつつ、各地域の集落のコミュニティを維持し、それらを相互に結びつけるような都市のイメージである。</p> <p>人口問題については、何か手を打たないと年寄りばかり増えてしまう。問題は、若い人が行田に住みたくなるようなまちにしなければいけない。そのためには、前回、意見書で出したように、「落ち着いて学べるまち」、「子どもの教育は行田市で受けたいと思えるまち」にすることである。もう一つは、若い人たちに雇用の場がなければならないということ。</p> <p>私は、子ども会議でのアンケート結果のショックが大きい、今の中学生は、行田市から離れるという意見が圧倒的に多かった。</p> <p>行田市は、「全ての教育が優れているまちを目指す。」という方針を打ち出せば、イメージが出来ると思う。若い人たちに住んでもらわないと高齢化が予想を超える可能性もある。「若い人が住みたくなるまちを目指す」ことは、非常に大事な視点である。</p> <p>今、雇用の問題と教育に関連した意見があったが、何かないか。</p> <p>私の学校の 1 年生は、今年度 49 名で 2 学級であるが、平成 28 年では、1 年生が 12 人で 1 学級になってしまう。</p> <p>現在は、60 歳以上の方がお元気で、学校応援団やボランティアで学校に来て頂いて、教育に地域の特色を取り入れている。しかし、今後、子供が少なくなり、高齢者のひとり暮らし家庭が増加すると、地域のコミュニティがどうなるのか不安である。</p> <p>私には、3 人の子どもがいるが、大学を卒業してから行田市で働く場所がない。また、約 10 年間、JR の吹上駅や北鴻巣駅まで</p>
--------------------------------	----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------

<p>委員長 委員</p>	<p>の送迎をしていた。熊谷行きのバスがなくなり、JR 吹上駅までのバスは少なく、往復で約 700 円と高い。また、北鴻巣駅までについてはバス路線がない。若い人に住んでもらうためには、JR の駅までの交通アクセスが不便であることが問題になっていると思う。</p> <p>生活圏、生活道路、生活の足を整備しないことには、子どもは増えていかないのではないか。そうしないと、若い家族は、行田市に来たいと思わないと思う。</p> <p>以前に、秩父鉄道に東武鉄道が乗り入れて地下鉄とつながるということを聞いて良かったと思ったが、頓挫してしまい残念である。</p> <p>教育の面では、市の考えで、浮き城先生などの教員配置をして頂き、小学校の 1、2、3 学年と中学校の 1、2、3 学年で少人数学級を実施しているが、全学年を 30 人学級で教育ができれば理想的である。</p> <p>他に意見はないか。</p> <p>都市づくりには、人口問題が重要である。国勢調査の推計によると、現在の 8 万人台行田市の人口が、20 年後には 6 万 9 千人となる。この計画は、6 万 9 千人のレベルで考えた方が良くと思う。</p> <p>行田市をどのような都市にしていくかを考えたとき、少子高齢化で、若い人の割合が増えないことを見込んで、高齢者対応型のまちづくりを考えても良いのではないか。</p> <p>若い人を集めるということは、総体的に若い人が減る中では非常に難しい。私も、税の作文の授業をしているが、行田税務署管内の 20 校の中学校の生徒数は、約 10 年前は 1 万人くらいだったが、今は、6 千人台であり、20 年先を考えると 5 千人台、4 千人台になってしまう。少子化の影響はボディブローのように効いてくる。むしろ、若い人を集めるというよりは、高齢者に対応できるようなまちづくり構想も視野に入れてはどうか。</p>
<p>委員長 委員</p>	<p>他に意見はないか。</p> <p>先ほど、●●委員から意見があったが、私も JR への交通アク</p>

	<p>セスは非常に重要だと思う。前谷地区は、JRの駅に近く、通勤・通学の利便性が良いので、ここに、都市基盤整備をすることは、行田市の活性化につながると考える。</p>
<p>委員長 委員</p>	<p>他に意見はないか。</p> <p>教育の話が出たので申し上げるが、幼児教育が重要だと思う。生まれたばかりの子どもには、親が無償の力を注ぎ込む。</p>
<p>委員長 委員</p>	<p>私は、足立区のいずみ幼稚園を視察してきた。そこでは、幼児教育をしっかりとやっているので学力が落ちない。そして、卒業生が結果を残しているので、区外からも人が集まっている。名前が知られるまでは大変だったようだが、今では、大学までを考えて引っ越してくる人がいると聞いた。行田市でも幼児教育に力を入れたらどうか。</p>
<p>委員長 委員</p>	<p>非常に具体的で戦略的な事業だと思う。</p> <p>他に意見はないか。</p> <p>都市計画マスタープランを策定した後、これを動かすとき、財政の問題も重要だが、どういう人が係わって、まちづくりのプランを育てるのが重要だと思う。</p>
<p>委員長 委員</p>	<p>「市民参加の機会の創出」人に関するところが一番下に書かれているが、これは、3つの都市づくりの基本目標である「暮らしの充実」、「にぎわいの創出」、「水と緑と歴史の継承」のいずれにも関わってくるものである。</p> <p>また、新しい市民団体というニュアンスが強いが、そもそも、市民が生活している地域には、商工会議所などの地域を支えている組織、企業、商店、教育機関などがある。そういった重要な人の組織が、都市計画マスタープランにどう係わっていくのかがもう少し見えないと、計画を進めるときに生きてこない気がする。</p>
<p>委員長 委員</p>	<p>資料の黄色の部分の「市民参加の創出」が、今は一番下の部分にだけ関連付けされているが、全体に係わってくるはずだという意見だが、私も他のところにも関連してくると思う。</p> <p>他に意見はないか。</p> <p>全体的な話になるが、3つの都市づくりの基本目標の内、「行田</p>

	<p>らしさが光るまち」の「水と緑と歴史の継承」、いわゆる環境が、行田らしさの基盤であるという考え方になると思う。</p> <p>そこに、「暮らしの充実」と「にぎわいの創出」の施策を行うことにより、その基盤がどのように未来に引き継がれていくのか。あるいは、どう充実してくのか。ということが基本的な方向であり目標であると思う。</p> <p>要するに、「行田らしさが光るまち」が一番重要で、そこを光らせるためにどうするのかということであり、次いで、あとの2つの目標があると考えて良いと思う。</p> <p>そうすると、書く順番に問題があると思う。最初にくるのは、「行田らしさが光るまち」ではないか。あるいは、扱い方をもう少しアピールするような書き方があるのではないか。</p> <p>特に、「行田らしさが光るまち」の課題の設定にある「水と緑のまちにふさわしい自然環境の維持保全」は、行田にとって生命線である。それから、「低炭素都市の創出」は、21世紀が環境の時代であると考えれば、もっと強調するべきである。もう少し「環境」ということをクローズアップできる書き方ができないか。</p> <p>それから、景観のところに「水・緑の歴史のまちにふさわしい景観の創出」とあるが、景観を創出するという具体的なイメージができない。今ある景観とは別に、新たにつくり出すのか。それとも景観そのものを整備していくという考え方なのか。あるいは、修景という意味なのか。</p>
委員長	<p>景観の創出について、事務局として考えていることがあれば説明願いたい。</p>
事務局	<p>市には、歴史的な景観や産業遺産が沢山ある。例えば、足袋藏などの今ある資産を活用しながら、新しいものを生み出していくという意味合いで捉えている。</p>
委員長	<p>自然環境とか自然の景観などの創出に、重点的な手当てをしていく考えはあるのか。</p>
事務局	<p>検討させて頂きたい。</p>
委員長	<p>他に意見はないか。</p>

<p>委員</p>	<p>何をやれば人口が 7 万人で留まるのか。何をやっていけば行田市で残っていけるのか。コンパクトシティってどうするのか。そこが大切である。これまで行田市は 10 万人を目指してきて、人口が減ってきているので、この数字もあてにならないのではないかな。</p> <p>環境や景観なども大切だと思うが、公園や道路をつくっても人がいなければ意味がない。学校によっては、複式学級になりそうな所もある。これからも、一人しか産まないのだから、子どもの数は減っていくと思う。何をやっても人口は減っていくことは間違いない。もしかしたら、20 年後には行田市がなくなっているかもしれない。</p> <p>また、行田市は観光ではないと思う。「観光」に携わっている人が人口の何パーセントいるのか。ただ、単に言葉を入れただけにしか見えない。</p> <p>水と緑はいっぱいあり、それをうまく利用するのは分かるが、実際には高齢化が進んでいて田んぼや畑を作る人がいなくなる。農業の振興や産業を誘致するなどの意見が出てくると思うが、お題目があって小分けしたのであれば、もっと具体的でなければならぬ。いつまで目標ばかりなのか。</p> <p>例えば、教育であれば、小・中・高一貫教育をつくってしまうとか。また、産業を誘致しても行田市の外に住まわれたら意味がないので、市内に住んでもらうにはどうしたら良いか色々出てくると思う。</p> <p>この計画を本年度に策定して、平成 25 年度から事業が始まるというのがベストであると思う。最初に「絵に描いた餅にしない」と言っていたのはどこにいったのか。</p>
<p>委員長</p>	<p>目標は大切であるが、目標を実現させるための施策をもっと具体的に提示して欲しいという意見だと思う。</p> <p>意見として申し上げたい。資料に「目標の実現に向けた課題の設定」とあるが、「目標の実現に向けた課題」ではないか。右側が実現するための施策の大項目だと思う。</p> <p>今までの、具体的に何をやるのかが見えない、何を重点的にや</p>

	<p>るのが見えない。というご意見は、資料の右側の部分が課題のままであるからであって、具体的な方策・施策になっていないからだと思います。</p> <p>「目標の実現に向けた課題」というところでとめておくか、または、別の言い方にするかだと思います。</p>
事務局	<p>「目標の実現に向けた課題」ということにしたい。</p> <p>それと、先ほど何をしたら良いか、何をやるのが見えないという指摘があったが、今後、全体構想や地域別構想について、議論頂く中で、コミュニティがこのままで大丈夫なのか。また、交通アクセスについて、何が必要かを議論頂きたい。</p>
委員長 委員	<p>他に意見はないか。</p> <p>先ほどの●●委員の意見に関連して、今後、細分化していったときに、この会議で具体的な案を出して、それをもとにして、平成25年度から施策を実施しようという理解で良いか。</p>
委員長	<p>そのとおりである。</p> <p>今日までのところは、基本目標のレベルで、どのような課題があるかを整理したところである。</p> <p>それでは今日の議題である「目標の実現に向けた課題の設定について」採決を行いたい。原案のとおりでよいか。</p>
委員	<p>原案のとおりで承認ということになると、我々のこれまでの議論は何だったのか。事務局では、我々の意見に対して修正することはないのか。</p>
事務局	<p>「行田らしさが光るまち」の位置付け、また、「市民参加の視点では、全ての目標に係わる」などのご意見を頂いているので、修正させて頂きたい。</p>
委員	<p>都市計画マスタープランで、20年後の行田市の将来像がイメージ出来るということは非常に大切である。誰が見ても分かるようなプランにして頂きたい。</p>
委員長	<p>それでは、「目標の実現に向けた課題の設定について」は原案に、今回の意見を踏まえて修正を加え、次回に修正（案）を提示することにした。</p>

<p>委員 委員長</p>	<p>皆さんよろしいか。</p> <p>「異議なし」の発言あり。</p> <p>それでは、次回に修正（案）を提示することにする。</p> <p>以上をもって、議長の職を解かせていただく。議事進行にご協力いただきありがとうございます。</p> <p style="text-align: center;">議事審議終了</p>
-------------------	--------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------